

平成27年度 事業報告

I 社会福祉事業

1 法人運営部門 「運営基盤の強化」

民間団体としての主体的な経営判断を行い、かつ、地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性を併せ持つ地域福祉を進める中核的な団体として、地域住民から信頼される組織づくりに取り組んだ。

(1) 人事・労務管理体制の整備

① 人事・労務管理の整備

ア 人事計画・採用計画の策定

計画の策定に向けて、前橋市総務部職員課及び行政管理課と2回、意見交換を行った。

イ 有資格職員の確保

新たな職員処遇を導入し、有資格職員の確保を図った。

ウ 業務の見直しと負担のシェア

各業務について、精査を行った。

エ 健康診断と予防接種の継続実施

全職員の定期健康診断と、介護等職員のインフルエンザ予防接種を行った。

オ 適材適所の人事ローテーション

人事ローテーション実施に向けての素案を作成した。

② 人材育成の推進

ア 研修体系と計画内容の見直し

効果的な研修を実施するため、研修内容の精査を行った。

イ 職員の資格取得支援

各種資格取得に関する情報提供を行った。

ウ 人材育成全般に係る予算の確保

上記アの研修内容に係る経費を確保した。

③ その他

ア 社会福祉関係実習生の受入れ

社会福祉関係の大学や専門学校、看護学校等から実習生を受け入れ、将来の地域福祉を担う学生等に対し、社会福祉協議会の業務について実習指導を行った。

実習の種類	受け入れ日数(日)	受け入れ人数(人)
社会福祉相談援助実習	120	5
医療・看護関係実習	14	255
生徒職場体験研修	20	4
合計	154	264

(2) 財政基盤の強化

① 財源の確保と有効活用

ア 基金・積立金の状況

(ア) 基本財産 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
8,200,000	2,061	2,061	8,200,000

※利息収入2,061円は、社会福祉事業基金に積立てた。

(イ) 社会福祉事業基金積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
181,847,184	11,358	0	181,858,542

※決済用普通預金

※定期預金利息収入7,952円、基本財産の利息収入2,061円、法人運営調整積立金の利息収入1,345円の合計11,358円を積立てた。

(ウ) 船津キミ子基金積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
10,000,000	2,506	2,506	10,000,000

※利息収入2,506円は、ふれあい・いきいきサロン推進事業（ふれあいのまちづくり事業）に充てた。

(エ) 福祉バス積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
6,405,315	0	1,287,000	5,118,315

※決済用普通預金

※福祉目的のバス利用助成事業に充てるため1,287,000円を取り崩した。

(オ) 収益事業積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
1,010,154	0	0	1,010,154

※決済用普通預金

(カ) 介護保険事業運営調整積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
227,001,039	0	0	227,001,039

※決済用普通預金

(キ) 介護保険事業退職給与積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
56,363,135	0	0	56,363,135

※ 決済用普通預金

(ク) 指定管理事業運営調整積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
40,000,000	0	0	40,000,000

※ 決済用普通預金

(ケ) 指定管理事業退職給与積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
46,221,021	606,078	0	46,827,099

※ 決済用普通預金

※ 地域活動支援センター及び老人福祉センター分

(コ) 指定管理事業退職給与積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
8,082,773	0	0	8,082,773

※ 決済用普通預金

※ 心身障害者デイサービスセンター分

(カ) 法人運営調整積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
7,349,800	1,345	1,001,345	6,349,800

※ 利息収入1,345円は社会福祉事業基金に積立てた。

法人運営の人件費として1,000,000円取り崩した。

(シ) 法人運営退職給与積立金 (円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
8,776,567	0	0	8,776,567

※ 決済用普通預金

(ス) 児童クラブ事業積立金

(円)

前年度末現在高	決算年度中増高	決算年度中減高	決算年度末現在高
6,000,000	13,786,859	0	19,786,859

※ 決済用普通預金

運営調整金として各児童クラブより13,786,859円積み立てた。

イ 福祉を目的としたバスの運行

1回の利用につき、収益団体には1万円、非収益団体には2万円、合計1,460,000円を助成した。

(目的別利用状況)

目 的	利用団体数
講習会及び研修会	48
機能回復訓練	1
スポーツ及びレクリエーション	24
合 計	73

(団体別利用状況)

区 分	利用回数(回)
地区社会福祉協議会	7
民生委員児童委員協議会	7
福祉団体	38
ボランティア団体	12
社会福祉施設(内、介護保険事業者)	9
合 計	73

② 経営状況の把握

ア 会計システムの活用

会計システムの活用により、各所属で適正な予算執行を行った。

イ 出納責任者の経理研修

10月と2月に、出納責任者(所属長)を対象とした経理研修を行った。

講師は2回とも、永田会計事務所の巡回監査士、田村敦氏に依頼した。

③ 適切な財産管理

ア 車両管理の徹底

各所属に車両担当者を設置し、管理体制の徹底を図った。

イ 適切な施設管理

修繕計画書の作成に取り組んだ。

ウ リース物件管理の徹底

各所属でリース物件管理票を作成し、リース期間等を把握することで、事務の効率化や正確性を高めた。

(3) 法人運営・組織管理体制の強化

① 会員制度の拡充

ア 加入促進に向けた広報活動

社協の事業に賛同していただけるよう、活動を分かりやすく伝える広報活動を行った。

② 役員会の開催と活性化

ア 社協情報の発信

広報紙、ホームページ、概要等を作成し、さまざまな方法による情報発信を行った。

イ 役員会の開催

定期的に理事会、評議員会を開催し、組織運営のための審議、重要事項の報告を行った。

(理事会開催状況)

期 日	議案、報告件数	場 所	出席者
4月 1日	議案第1号～2号	市総合福祉会館3階 第5会議室	理事13人 (うち書面5人)
5月25日	議案第3号～5号 報告第1号～19号	市総合福祉会館3階 第5会議室	理事12人 (うち書面3人)
10月19日	議案第6号～8号 報告第20号～42号	市総合福祉会館3階 第5会議室	理事14人 (うち書面0人)
3月23日	議案第9号～38号 報告第43号～62号	市総合福祉会館3階 第5会議室	理事14人 (うち書面3人)

(評議員会開催状況)

期 日	議案、報告件数	場 所	出席者
5月25日	議案第1号～3号 報告第1号～19号	市総合福祉会館3階 第1, 2会議室	評議員31人
10月19日	議案第4号 報告第20号～43号	市総合福祉会館3階 第1, 2会議室	評議員33人
3月23日	議案第5号～10号 報告第44号～87号	市総合福祉会館3階 第1, 2会議室	評議員36人

③ リスク管理の推進

ア リスクマネジメント体制と規程の整備

地域から信頼される組織として、また、社会的責任を果たすため、職員の法令遵守に関する要綱制定に向け他法人の整備状況を調査し、次年度施行の要綱を作成した。

④ 広報・啓発活動の推進

ア ホームページの見直し（災害時情報発信基盤整備事業）

平成12年5月に開設し、タイムリーな情報を提供している。

見やすく、災害時の情報発信機能を備えたホームページにするため、平成29年4月の全面リニューアルを目指し、指名型プロポーザルによる企画提案を実施し、業者を選定した。

イ 社協だよりの発行

日頃の本会の活動状況などを多くの市民に知っていただくことを目的として、機関紙「こんにちは前橋市社協」を発行した。6月、9月、12月、3月の4回、1回に142,000部を印刷し市内の全戸に配布した。

本会の事業や施設の紹介、地域での福祉活動など分かりやすい紙面づくりに努めた。

ウ 大胡支所だより「ささえあい」の発行

日頃の大胡支所の活動状況などを市民に知っていただくことを目的として、月1回の12回、1回に6,420部を印刷し大胡地区内の全戸に配布した。大胡支所の事業紹介や、地域のボランティア交流活動、小地域でのふれあい福祉委員会活動（サロン活動など）を中心とした地区社協活動を掲載した。

エ 事業状況・財政状況等情報の公開

本会運営の透明性及び理解を図るため、事業年度終了後、本会ホームページ及び機関紙「こんにちは前橋市社協」に事業状況や財政状況を掲載した。

また、法人の運営状況を記載した現況報告については、所轄庁である前橋市及び本会のホームページに掲載し適正かつ公正な運営状況であることを公表した。

オ 前橋市社会福祉大会の開催

社会福祉の更なる展開を図り、社会福祉関係者との緊密な連携を図るとともに、多年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表敬し、感謝の意を表すことを目的に第18回前橋市社会福祉大会を開催した。

期 日 平成27年11月11日（水） 午後1時30分

場 所 前橋市民文化会館 大ホール

入場者数 750人

開催内容 【第一部】 式典 表彰状・感謝状の贈呈

前橋市長表彰 33人

（特別功労者2人、民生委員児童委員功労者31人）

前橋市社会福祉協議会長表彰及び感謝 357人

（表彰：民生委員児童委員功労者76人、保護司功労者9人、社会福祉施設及び団体役職員功労者74名）

（感謝：社会福祉協助者178人、永年福祉関係者1人、善意銀行寄付者19人）

【第二部】 記念講演

講師：日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員 渡辺哲雄氏

演題：「認知症になった波平 ～契約社会と成年後見～」

⑤ 組織の見直し

ア 組織体制の見直しと合理的・機能的な組織の再編成

平成29年度再編成に向けて、職務権限、経理規程及び事務フロー等の見直しを進めた。

イ 介護保険制度改正への対応

効率の良い人員体制を整備した。

ウ 権利擁護支援の体制づくり

法人後見センター（仮称）設立に向けて、行政と協議を行い、先進地を視察した。

2 地域福祉活動部門 「ささえあう地域づくり」

「第2次地域福祉活動計画（まえばし福祉のまちづくり計画）」に基づき、平成27年度から設置したコミュニティソーシャルワーカーや平成22年度より進めてきた地区担当チーム制による地域支援や個別支援の活動により、さまざまな福祉課題の解決に努めた。

とりわけ、平成28年度に向けて、行政及び地域包括支援センターとの連携を強化し、これまで進めてきた地域住民との顔の見える関係を生かし、地域包括ケアシステムの構築を進めた。

(1) ふくしのまちづくり事業への支援

○誰でも気軽に交流できる場づくり

地区担当チーム制を基に地区社協や自治会を単位とする活動を支援しながら、市全域における多世代交流や障害の有無にかかわらず交流の場づくりを進め、ノーマライゼーションの推進に努めた。

① 各地区（自治会を含む）を単位として行う事業への支援

ア ふれあい・いきいきサロン助成事業

ふれあい・いきいきサロン助成事業費として、ひとり暮らし高齢者や、日中ひとりで暮らしている高齢者、障がい児者、子育て中の親、ひとり親家庭等、地域との交流が十分に持てない方を対象に、自治会、地区社協、民生委員、保健推進員、老人クラブ、地区ボランティア等の協力を得ながら、気軽に立ち寄れる「地域の集いの場」の開設のための支援と助成を行った。

助成金は、地域歳末たすけあい募金と市補金を原資として248のグループに合計7,585,000円を交付した。

イ ふれあい・いきいきサロン推進事業

高齢者の健康づくり（介護予防）と地域活動を支援するため、看護師2名で「ピンシャン！元気体操」の周知・指導、介護予防・認知症予防・尿失禁予防等、健康増進の講話を行った。

また、各地区の研修会等にて脳トレ・レクリエーションの指導を行った。

(ア) 中部地区	5月22日	地区社協総会
	3月31日	地区ふれあいサロン研修会
(イ) 上川淵地区	2月27日	地区ふれあい茶話会
(ウ) 桂萱地区	5月22日	地区ボランティア総会
	11月30日	地域づくり協議会研修会
(エ) 永明地区	2月 2日	地区サロン支援者研修会
(オ) 大胡地区	2月23日	介護者交流会
(カ) 宮城地区	8月19日	高齢者教室
(キ) 富士見地区	5月11日	地区ボランティア総会

(実施状況) (実施日数 203日)

実施会場数	延べ 324会場 (前年度比 1会場増加) (新規 140会場、継続184会場)
参加人数	延べ 10,545人 (前年度比 589人減) (新規4,706人、継続5,839人)

ウ 高齢者ふれあい・いきいきサロンバスハイク助成事業

遠出をする機会の少ない高齢者に対して、ふれあい・いきいきサロンにおける日頃の交流活動の一環として、バスハイク事業の実施に必要な経費の助成を行った。赤い羽根共同募金を原資として38サロンに合計1,818,360円を交付した。

エ ふれあいの広場助成事業

三世代交流、高齢者や障がい者への理解、いたわりの心を育むことを目的として、地区社協単位で開催されるふれあいの広場に対し、事業費の助成と福祉コーナー活動の支援を行った。教育委員会主催の、のびゆくこどものつどいと共催された。

<平成27年度 各地区の開催状況>

地区名	地区 (学校区)	期 日	場 所	内 容	参加人数 (人)
岩神	岩神小	5月23日 (土)	岩神小学校	福祉体験(車いす・アイマスク) スタンプラリー(チューブプレーン・折り紙・缶釣りゲーム・ビー玉カーリング・ペーパークラフト・輪投げ・けん玉・スライム作り・バルーンアート) タンク君と記念撮影	370
敷島	敷島小	5月10日 (日)	敷島小学校	福祉体験(車いす・アイマスク) 折り紙・ティッシュ配布・スポレック・折り紙・豆あそび・ストラックアウト・プラ板工作・輪投げ・ブーメラン・かんたんフリースロー・ホールインワン・スタンプラリー	430
若宮	若宮小	5月10日 (日)	若宮小学校	福祉体験(車いす・アイマスク・高齢者疑似体験) 火災時煙体験・プラ版アクセサリー・ボトルキャップカーリング・輪投げ・ストラックアウト・グラウンドゴルフ・中学生企画コーナー等	570
城東	城東小	5月24日 (日)	市総合福祉会館	福祉体験(車いす) 健康相談、輪投げ・お年寄りへのおたよりコーナー・人形細工・折り紙	1,300

中部	桃井小	4月29日 (水・祝)	桃井小学校	福祉体験(車いす・アイマスク・福祉クイズ)各種ゲーム(輪投げ・ダーツ・グランドパターゴルフ・ビン缶釣り・ストラックアウト・ディスクッター9他)パトカー及び救急車展示・起震車・煙体験・キーホルダー作り・第一中学校自主企画コーナー(科学部スライム作り・合唱部・吹奏楽部)等	559
中部	中央小	5月17日 (日)	中央小学校	福祉体験(車いす・アイマスク・障害体験)福祉活動PRコーナー、グランドゴルフ・煙体験・水消火器、昔遊び	453
中川	中川小	5月9日 (土)	中川小学校	福祉体験(車いす・アイマスク・高齢者疑似体験)福祉作業所販売コーナー、割りばし鉄砲作り・なかよし玉入れ・輪投げ・スマイルボウリング・グランドゴルフ・プロペラ飛行機とばし・ミサンガ作り・キーホルダー作り・折り紙・ペットボトルロケット作り・軽食コーナー(フランクフルト・ポップコーン・チョコバナナ・綿菓子)	350
文京	天川小	5月24日 (日)	群馬県立生涯学習センター	福祉体験(車いす・アイマスク)スタンラリーコーナー(モバイル作り・ステンシルしおり作り・折り紙・バスケットビンゴ・輪投げ・ストラックアウト・グランドゴルフ・中学生企画コーナー・警察コーナー・地域有志コーナー・麦茶コーナー等)全体競技「番号合わせてパン!パン!パン!」・野点(五中茶道部)・ミニバザー・花の苗配布(参加者全員)	800
南部	城南小	5月24日 (日)	城南小学校	福祉体験(車いす・点字体験)健康相談、城南小マーチングバンド・盲学校点字体験・保育園児遊戯・模擬店・のびゆくこどものつどい競技・市民大運動会競技等	500
上川淵	上川淵	4月29日 (水・祝)	上川淵公民館及び天神小学校	福祉体験(車いす・高齢者疑似体験)健康相談・身体測定、福祉作業所販売コーナー、薬物乱用防止啓発・貝殻ストラップ作り・チヂミ試食配布・野菜果物販売・煙体験・消火体験・キーホ	1,800

				ルダール作り・おもしろ自転車・ポニー乗馬体験	
下川淵	下川淵	5月23日 (土)	横手わせだ 緑地公園	福祉体験(車いす・アイマスク)子どもステージ&ふれあいステージ・子ども横丁(ストラックアウト・魚釣り・輪投げボウリング・綿菓子)・ふれあい子育てコーナー・花苗販売と寄せ植えコンテスト・各種模擬店・フリーマーケット・体験コーナー(パトカー・消防車・水彩画・ヨーヨーつり・水鉄砲・竹馬・折り紙・シャボン玉・あやとり)・下川淵カルタクイズコーナー・七中生企画コーナー・花の写真展	1,800
芳賀	芳賀	5月16日 (土)	賀市民サービスセンター	福祉体験(車いす雨天中止)健康相談・パターゴルフ・だるま落とし・しおり人形作り・折り紙のコマづくり・タオルでワンちゃん作りと配布・輪投げ・模擬店(焼きそば・綿菓子・ポップコーン)非常食試食コーナー・ヨーヨー釣り・スライム作り・ポテトサラダ作り・簡単工作等・消防コーナー・警察コーナー(雨天中止)	600
桂萱	桂萱	5月10日 (日)	桂萱中学校 第二グラウンド・桂萱公民館駐車場	福祉体験(車いす)健康、福祉相談・介護用品の展示・桂萱中吹奏楽演奏・だんべえ踊り・中学生チャレンジコーナー・クイズ桂萱・全員参加ビンゴゲーム・変形自転車・泉荘楽団演奏・東警察署演技・施設手作り品販売・クラフト作成・工作・健康栄養おやつ・消防警察コーナー・薬物乱用呼びかけ・バルーンアート・ゴーヤ苗配布・読み聞かせ・ぐんまちゃん、ころとん登場等	4,500

東	東	5月17日 (日)	大利根小学校	福祉体験(高齢者疑似体験)ふれあいコーナー(焼きそば模擬店・ふれあいサロン等)・手づくりコーナー(ビーズブレスレット・しおり人形・コマ・折り紙・かくれんぼサイコロ・バルーンアート)・ポップコーン・竹馬・交通安全体験・輪投げ・ピッチャーゲーム・ポニー乗馬・子ども運営コーナー・中学生自主企画 等	4,000
元総社	元総社	5月10日 (日)	元総社市民サービスセンター	福祉体験(車いす)福祉作業所販売コーナー・ポニー乗馬体験・元総社中学校吹奏楽部コンサート・Ciel コンサート・丸太コースター作り・プラ板でキーホルダー作り・箸で豆つかみ・ヨーヨー釣り・的当て・ペットボトルで輪投げ・マジックバルーン・模擬店等	2,750
総社	総社	5月24日 (日)	総社公民館	福祉体験(車いす・高齢者疑似体験・点字体験)健康コーナー・幼児だんべえ・ポニー乗馬体験・ストラックアウト・スーパーボールすくい・しおり人形作り・的当てゲーム・昔遊び・お絵かき教室・ゲーム体験(中学生企画)・各種模擬店	2,200
南橘	南橘	5月10日 (日)	細井小学校校庭	福祉体験(車いす・アイマスク)手話コーラス・輪投げ・ブーメラン・火おこし体験・模擬店・消防車との記念撮影・水消火器による消火訓練・救急隊によるAEDシミュレーション・子ども和太鼓・鎌倉中吹奏楽・中学生自主企画コーナー・スタンプラリー	3,000
清里	清里	5月17日 (日)	清里小学校校庭	福祉体験(車いす・アイマスク)福祉施設コーナー(こがね荘:作品展示・メダカ・木工品等の販売・高等養護学校:作品展・鉢植えプレゼント・ゆずりは会:菜の花・お手玉等・ヴィラ清里:オセロゲーム等) グランドゴルフ体験・プレゼントコーナー(きよさと焼き・カレーライス)	700
永明	永明	5月10日 (日)	永明市民サービスセン	福祉体験(車いす・アイマスク)抽選会・綿菓子・ポップコーン・折り紙・	1,500

			ター・木瀬中学校運動場	ハンドクラフト・切り絵・グランドゴルフ・輪投げ・くじ屋・ヨーヨー釣り・警察コーナー・的当て・ヒットペット・サンモア・カルメ焼き・割りばし鉄砲・ぶんぶんコマ・バルーンアート・ジャンプがえる・スタンプラリー・防災コーナー等	
城南	城南	5月17日 (日)	城南公民館	福祉体験(高齢者疑似体験)模擬店(ドリンク・ポップコーン・やきそば・綿菓子・かき氷・チョコバナナ・チーズケーキ等の販売)・輪投げ・的当て・ヨーヨー釣り・デコパージュ・火おこし体験・丸太切り体験・八木節・だんべえ踊り・ポチットくん体操・警察消防コーナー・中学生自主企画(コスプレカフェ・ボウリング)・おもちゃ作り・楽しい科学コーナー・本探しゲーム等	3,000
大胡	大胡	5月16日 (土)	農村環境改善センター・保健センター・大胡東幼稚園・大胡体育館	おもちゃの病院・サロン活動写真展示・大胡中吹奏楽部・大胡中〇×クイズ・スライム作り・コマまわし・抹茶体験・リサイクル工作等・ストラックアウト・スカットボール・特大食育かるた・子どもわくわく活動・ミニ消防車試乗・消防服試着撮影・キーホルダー作り・ミネストローネ、みたらし団子試食・模擬店(焼きそば・ラムネ・かき氷・落書きせんべい・フランクフルト・綿菓子等)・大型絵本、紙芝居の読み聞かせ・非常用食料の配布	1,650
宮城	宮城	5月24日 (日)	宮城公民館ホール及び前庭	福祉体験(車いす)福祉車両展示・おもちゃの病院・輪投げ・ストラックアウト・ヨーヨー釣り・スカットボール・消防車両展示・警察車両展示・制服試着・炊き出しコーナー・昔の遊び・ポップコーン等の配布・花苗配布・ポニー乗馬及びふれあい・みやぎ地域づくり交流会コーナー等	850
粕川	粕川	5月24日 (日)	粕川小学校	福祉体験(車いす・アイマスク)サロン写真展示・福祉作業所陶芸作品展・	2,335

				粕川中吹奏楽・清流太鼓演奏・民踊・粕川小合唱・だんべえ・模擬店・警察コーナー・消防コーナー・昔遊び・中学生企画ゲーム・健康クイズ・スタンプラリー・スカットボール・羽根っこ体験・子育てお役立ちコーナー・防災、防犯コーナー等	
富士見	富士見	5月17日 (日)	富士見中学校体育館及び校庭	福祉体験(車いす)福祉車両展示・鳥居の会、手話サークル・福祉作業所販売コーナー・世代間交流グランドゴルフ・ポニー乗馬体験・消防コーナー(消防車、救急車展示・制服試着&撮影・キーホルダー作成・防災相談等)・警察コーナー(パトカー・白バイ展示)・模擬店(ポップコーン・フランクフルト)・富士見中生徒(19部活)による自主企画コーナー・前橋市富士見赤十字奉仕団によるコーナー・ガールスカウト第24団によるコーナー・バルーンアート・ビーズ製作等・富士見地域づくり協議会コーナー等	1,500
				合 計	37,517

オ 在宅高齢者等ふれあい会食サービス配分事業

在宅高齢者等、見守りが必要な住民の地域交流を目的として、地区社協が主体となって開催するふれあい会食サービス事業に対して必要な経費の助成を行った。地域歳末たすけあい募金を原資として、全23地区社協へ総額2,474,000円を交付した。

カ 地域づくり事業との連携

前橋市(主管課:生活課)で進めている地域づくり事業の各地区の福祉部会の運営支援を行い、地域福祉活動の活性化を図った。

また、前橋市内の地域活動従事者の意識共有と連携を目的とした前橋市地域づくり連絡会と「前橋市地域づくり交流フェスタ2015」の運営支援を行った。

各地区の福祉関係者担い手養成研修会への運営支援を行い、地域全体で福祉活動に取り組む土壌づくりを行った。

キ 地区社協との連携

市内には23の地区社協があり、それぞれ自主的に活発な活動を行っている。本会として、地区社協会長会や研修会を開催し、地域福祉に関する情報の提供等を行い、その充実強化に努めた。

(ア) 地区社協会長会議の開催

期 日	内 容	場 所
4月24日 (第1回)	○地区社協会長会の役員の選任について 前橋市社会福祉協議会の役員の選任について ○ふれあいの広場事業配分金について (その他) ○まえばし福祉のまちづくり計画の概要について (第2次前橋市地域福祉計画・前橋市地域福祉活動計画)	市総合福祉会館 第3会議室
6月16日 (第2回)	○平成26年度 事業報告について ○平成26年度 会計報告並びに監査報告について ○平成27年度 事業計画(案)について ○平成27年度 会計予算(案)について ○要援護者見守り支援モデル事業について ○市社協会費の納入(一般会費・賛助会費)について ・平成27年度地区社協地域福祉活動助成金の申請について ○福祉目的のバス運行に関する助成事業利用について	市商工会議所
9月30日 (第3回)	○地域包括ケアシステムについて ○群馬県社会福祉大会表彰について ○地区社協研修会助成事業(案)について (その他) ○会長会研修会開催について	市総合福祉会館 第2会議室
2月19日 (第4回)	○地域包括ケアシステムの推進について ○前橋市社会福祉協議会役員候補者(評議員)について (その他) ○平成27年度ふれあい会食会及び地区社研修会助成金について ○平成28年度地区社会福祉協議会会長変更に伴う届の提出について ○平成28年度のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場について	市総合福祉会館 第5会議室

ク 地区社協組織の強化

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地区社協会長会及び地区社協の研修会を中心に、地域包括ケアシステムについて制度説明等を行った。

② 市全体を単位として行う事業の実施、支援

ア 地域福祉施設年末年始事業

障がい児者等の通所施設、児童養護施設の利用者に、明るく新年を迎えてもらうための年末年始事業費に対し助成を行った。地域歳末たすけあい募金を原資として、108施設に2,869,000円を交付した。

また、3施設に市長、市社協会長等が訪問し、助成金を届け利用者を激励した。

イ 在宅心身障がい児者海浜生活訓練事業

在宅の心身障がい児者とその保護者を対象として、海水浴体験、集団生活並びにボランティアとの交流を目的とした事業を行った。

期 日	8月17日（月）～18日（火） 1泊2日
場 所	見附市立海の家（新潟県長岡市寺泊郷本188-1）
参加者	障がい児者・家族30人、ボランティア（群馬医療福祉大学生）38人、同学校指導者3人、職員19人（含む実習生2人） 計 90人

ウ おもちゃの図書館推進事業

発達の遅れや障がいのある子どもたちが、おもちゃを通して楽しく遊び、ボランティアや友だちとの交流が成長発達の一助となることを目的として運営した。障がいの有無に関係なく、誰でも利用できるふれあいと交流の場としてイベントを開催し、おもちゃの貸し出しを行った。（設置場所：前橋市総合福祉会館1F）

開館日、場所	第1・3土曜日 午後1時30分～4時
開館回数	22回
利用者数	利用児童数 延234人 ボランティア数 延100人

○地域福祉活動の中核となる地域福祉活動圏域の設定

（地域包括ケアシステム構築に関する活動状況）

①生活支援コーディネーター

- ・3月17日～18日に県生活支援コーディネーター養成研修を6人が受講した。
（平成28年度より、第1層にチーフ1人、第2層にブロック単位に5人設置）

②生活支援サービス協議体

- ・平成28年度に予定される第1層（市域）協議体「前橋市生活支援・介護予防サービス体制検討会議」の設置に向け勉強会を5回行った。

<参加団体>

市介護高齢課（地域包括支援センター中央、介護予防係）

市生活課

市民活動支援センター

市シルバー人材センター

県共同募金会前橋市支会

市社協地域福祉課、ボランティアセンター

- ・地域団体への制度の周知を行った。

2月19日 地区社協会長会

2月17日、24日 自治会連合会

3月11日 民生委員児童委員協議会地区会長会

3月16日 ボランティア団体連絡協議会

③地域包括支援センター、介護予防係との連携

- ・2月17日に地域包括支援センター管理者等、市介護高齢課介護予防係、社協コミュニティソーシャルワーカー及び地区担当リーダー等による顔合わせを実施した。介護高齢課及び社協から説明後、グループワークを実施し、「包括、介護予防係、社協と一緒にやっていること（やりたいこと）」について意見交換を行った。
- ・市内地域包括支援センターが実施する管理者会議、総合事業部会、地域支援部会に

地域福祉課職員が毎月参加した。

- ・包括、社協の共催による研修会の実施や、地域ケア調整会議、実務担当者会議への企画段階からの参画を行った。

④医療との連携

- ・1月24日に「前橋地域在宅チーム医療・介護人材育成研修」に職員6名が参加した。ブロックに分かれ、医療、介護、リハビリ、福祉等の専門職が平成28年4月に設置予定の「在宅医療連携センター」について意見交換を行った。
- ・2月17日、3月18日に医師会主催の「病院在宅医師会サロン」に参加した。
- ・3月26日に老年病研究所主催「医療と介護連携フォーラム in 前橋」に参加し、社協の事業活動（安心カード、サロン、サロン看護師派遣等）をPRした。
- ・安心カードについて、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の協力を得て、周知用ポスター約550枚を配布し、掲示を依頼した。
- ・群馬中央病院にて、月2回、ミニ健康教室にて安心カードのPRを行った。
- ・群馬中央病院主催の「地域包括ケア研究会」に参加した。
- ・群馬県看護協会訪問看護ステーション粕川の災害対応研修企画支援を行った。研修には職員も参加した。同前橋南のスタッフ勉強会、患者向け災害時対応研修及び個別支援マニュアル作成の支援を行った。

○コミュニティソーシャルワーカーの設置（地区担当チーム制の活動状況）

まえばし福祉のまちづくり計画、市社協発展・強化計画の推進及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、より専門的、継続的な個別支援活動に対応できるコミュニティソーシャルワーカーを設置し、地区担当チームとの連動を図り地域支援活動と個別支援活動を一体的にできる体制を構築した。

（市域合計）

年度	活動合計件数	1 自治会会議等への出席	2 民児協会議等への出席	3 自治会、民児協以外の地域団体会議等への出席	4 地区社協・地域福祉活動への支援
27年度	1,803	25	268	70	196
26年度	1,963	69	279	80	266
比較増減	△160	△44	△11	△10	△70

年度	5 サロンへの参加、支援	6 市社協活動のPR	7 地区地域づくり推進事業への参加、協力	8 包括支援センター等関係機関との協働	9 個別支援活動への対応	10 市社協所属間の相談等連携
27年度	405	30	90	130	325	264
26年度	521	58	117	99	294	180
比較増減	△116	△28	△27	31	31	84

（地区別合計）

		岩 神	敷 島	若 宮	城 東	中 部	中 川	文 京	南 部	上川 淵	下川 淵	芳 賀	桂 萱
地区別活動件 数合計		30	78	85	20	62	26	59	58	52	51	46	98
内 訳	出席 自治会 議等への	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	1	1
	出席 民児協 議等への	10	12	11	12	11	12	12	11	14	11	12	12
	自治会、民児協以 外の地域団体 議等への出席	0	1	1	4	2	0	2	2	1	0	3	3
	地区社協・地域 福祉活動への 支援	3	3	8	2	8	3	2	13	3	1	2	9
	サロンの参加、 の支援	4	32	21	0	4	4	3	8	1	11	2	16
	市社協活 動のPR	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	地区地域づく り推進事業へ の参加、協力	4	11	2	0	1	5	6	1	10	1	0	8
	包括支援セン ター等関係機 関との協働	2	3	4	0	2	2	2	2	7	11	8	4
	個別支援 活動への 対応	3	5	19	1	19	0	8	10	3	9	6	25
	市社協所 属間の相 談等連携	1	11	19	1	15	0	22	8	9	6	12	20

		東	元総社	総社	南橋	清里	永明	城南	大胡	宮城	粕川	富士見	市内件数合計
地区別活動件数合計		22	51	88	75	35	64	93	158	161	119	272	1,803
内訳	出席 自治会 議等への	1	1	0	0	0	3	0	4	2	1	4	25
	出席 民児協 等への	10	8	12	13	12	11	13	11	12	11	15	268
	出席 自治会、 民児協 外の地域 団体等 への	5	3	4	10	0	2	4	3	2	2	16	70
	動への 支援	0	4	4	6	1	1	3	38	36	15	31	196
	支援 の参加、 サロンへ	0	2	8	11	2	12	19	45	24	49	127	405
	P R 活動の 市社協	1	0	1	5	1	1	0	7	3	1	4	30
	の参加、 協力	1	3	1	0	0	0	22	0	5	8	1	90
	関との 協働	2	6	4	5	1	12	5	17	6	14	11	130
	対応 活動への 個別支援	2	15	18	8	5	15	19	16	54	12	53	325
	談等 連携	0	9	36	17	13	7	8	17	17	6	10	264

(2) ボランティア活動と福祉教育の推進（人材育成）

学校や地域社会、企業等における福祉教育を推進するとともに、多様な関係機関・団体、個人ボランティア等と連携を深めることにより、ささえあう地域づくりの環境を整えた。

① ボランティア活動のコーディネート

ア ボランティア活動者と依頼者の調整（コーディネート）

ボランティア活動者とボランティアによる支援の希望を結びつけるコーディネート業務を行った。

	本所	大胡	宮城	粕川	富士見	合計
活動件数（件）	96	12	2	0	22	132
活動人数（人）	368	18	15	0	43	444

イ ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人や団体に登録してもらうことで、情報提供やコーディネートを行い、ボランティア活動の推進を図った。

団体登録	個人登録
58団体 2,653人	合計641人（男211人 女430人）

ウ ボランティア保険の加入等手続き

安全なボランティア活動のため、ボランティア保険の紹介、手続きを行った。

ボランティア活動保険	加入者	6,812人
ボランティア行事用保険	加入行事	116行事
福祉サービス総合補償	加入件数	8件

② 各地区（自治会を含む）を単位として行う事業への支援

ア 地区社会福祉協議会研修会助成事業

地区社会福祉協議会研修会事業助成金として、地域歳末たすけあい募金を原資として、開催地区社協（11地区）へ総額334,508円を交付した。

イ まちづくり事業（各支所）

各支所において、地域福祉活動・ボランティア活動啓発の研修会や、同種の福祉課題を抱える方々を対象とする交流体験会等を行った。

(ア) 大胡支所

- ・ふれあいのまちづくり研修会
 - ・期 日 3月4日（金）
 - ・場 所 大胡地区農村環境改善センター
 - ・参加者 163人
 - ・講 師 前橋市危機管理室防災アドバイザー
 - ・共 催 大胡地区社協

(イ) 宮城支所

- ・宮城地区防災のつどい

- ・期 日 9月10日(木)
- ・場 所 宮城公民館
- ・参加者 46人
- ・講 師 前橋市東消防署職員
- ・共 催 みやぎ地域づくり交流会

(ウ) 粕川支所

- ・粕川地区防災のつどい
 - ・期 日 11月5日(木)
 - ・場 所 かすかわ老人福祉センター
 - ・講 師 日本赤十字社群馬県支部
 - ・共 催 粕川地区社協
- ・地域ふれあい交流「ママとベビーのリラックスサロン」
 - ・回 数 年11回
 - ・場 所 かすかわ老人福祉センター
 - ・参 加 延76人
- ・地域ふれあい交流「ママのリラックスサロン(ベビータンズ)」
 - ・回 数 年12回
 - ・場 所 かすかわ老人福祉センター
 - ・参 加 延206人

(エ) 富士見支所

- ・平成27年度富士見地区ふれあい・いきいきサロン研修会
 - ・期 日 11月12日(木)
 - ・場 所 富士見地区農村環境改善センター
 - ・講 師 NPO 法人音楽の宅配便
 - ・参 加 120人
 - ・共 催 富士見地区社協
- ・ふれあいのまちづくり研修会
 - ・期 日 1月25日(月)
 - ・場 所 富士見地区農村環境改善センター
 - ・講 師 前橋地方气象台河野調査官
 - ・参 加 120人
 - ・共 催 富士見地区社協

③ 市全体を単位として行う事業の実施、支援

ア ボランティアサポートプログラム事業

ボランティアと協働し、子どもから高齢者までの地域住民を対象とした、学びと体験及び生活課題の解決に向けた事業を行った。

(ア) 初心者パソコン教室(全11回 参加者数延157人)

(イ) クワガタカブト飼育講座(年度内の開催11回 参加者数延228人)

(ウ) 子供お天気教室(全11回 参加者数延23人)

(エ) 車いすレクダンス講習会（全2回 参加者数延40人）

(オ) 椅子に座って初めてのフラダンス（全22回 参加者数延295人）

(カ) 落語教室（全10回 参加者数延69人）

(キ) 福祉・ボランティア・市民活動に関する研修・講座等への職員派遣

No.	団体名	実施日	内容
1	(株)ベイシア	5月14日 5月21日	講話、高齢者疑似体験（社員研修）
2	連合群馬前橋地域協議会	5月31日	ふれあいフェスティバル「福祉体験コーナー」の運営
3	駒形地区自治会	9月6日	車椅子体験
4	前橋市役所	10月14日	講話、車椅子、高齢者疑似体験
5	前橋家庭裁判所	12月7日	講話・車椅子・高齢者疑似体験・ブラインドウォーク（職員研修）
6	みずほ銀行	2月23日	講話・車椅子・高齢者疑似体験（職員研修）

イ ボランティアリーダー育成・強化研修

施設・団体の職員がボランティアの受け入れやプログラム作りについて学ぶ機会を提供し、現場での実践に活かすことを目的とした研修会を行った。

- ・期 日 平成28年2月9日（火）
- ・場 所 市総合福祉会館 第3会議室
- ・参加者 21人
- ・講 師：後藤麻理子氏

（日本ボランティアコーディネーター協会理事・事務局長）

ウ 学校等での福祉教育活動への支援

(ア) 学校・保護者・関連組織等主催の福祉・ボランティア学習への企画、実施支援

No.	学校名	実施日数	時間数	主な内容
小学校				
1	桃井小学校	1	3	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
2	中川小学校	1	2	講話、高齢者疑似体験
3	敷島小学校	1	1	視覚障害者による講話
4	城東小学校	2	5	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
5	若宮小学校	4	12	講話、車いす体験、高齢者疑似体験、視覚障害者による講話、ブラインドウォーク
6	岩神小学校	1	2	講話、車いす体験
7	広瀬小学校	1	6	講話、高齢者疑似体験、ブラインドウォーク
8	山王小学校	1	4	講話、高齢者疑似体験
9	天神小学校	1	2	講話、車いす体験（親子行事）
10	下川淵小学校	1	4	講話、車いす体験

11	桂萱小学校	2	4	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
12	桃木小学校	1	6	講話、車いす体験、ブラインドウォーク、
13	桂萱東小学校	1	6	バリアフリー教室
14	桃瀬小学校	1	2	講話、車いす体験（親子行事）
15	芳賀小学校	1	3	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
16	勝山小学校	3	6	講話、車いす体験、ブラインドウォーク 点字学習
17	元総社北小学校	1	2	講話、車いす体験
18	東小学校	4	1 3	講話、車いす体験、点字学習
19	大利根小学校	3	1 0	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク
20	細井小学校	1	8	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク
21	桃川小学校	1	1 3	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク
22	荒牧小学校	2	3	講話、車いす体験
23	清里小学校	1	2	講話、高齢者疑似体験
24	永明小学校	2	8	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク
25	荒子小学校	1	4	講話、ブラインドウォーク
26	大胡小学校	2	6	高齢者疑似体験、聴覚障害者による講話
27	滝窪小学校	2	6	車いす体験、高齢者疑似体験
28	滝窪小金丸分校	2	6	車いす体験、高齢者疑似体験、聴覚障害者による講話、
29	大胡東小学校	2	4	車いす体験、高齢者疑似体験
30	宮城小学校	3	6	親子車いす体験、ブラインドウォーク 地区社協サロンでの高齢者との交流
31	粕川小学校	1	6	講話、車いす体験、ブラインドウォーク
32	月田小学校	1	6	視覚障害者による講話、車いすユーザーによる 講話、高齢者疑似体験
33	原小学校	4	1 0	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
34	石井小学校	3	4	講話、車いす体験、ブラインドウォーク
35	時沢小学校	1	1 2	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
36	白川小学校	4	6	講話、車いす体験、高齢者疑似体験、ブライン ドウォーク、車いすユーザーによる講話
	小学校計	6 4	2 0 3	
中学校				
1	第一中学校	1	4	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
2	第五中学校	4	1 1	講話、車いす体験、高齢者疑似体験、ブライ

				ドウォーク、点字体験
3	第七中学校	2	16	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク
4	東中学校	1	1	講話、高齢者疑似体験
5	木瀬中学校	2	4	講話、車いす体験、
6	粕川中学校	5	30	講話、車いす体験、高齢者疑似体験 ブラインドウォーク、視覚障害者による講話
	中学校計	15	66	
高校				
1	前橋東高校	1	3	講話
	高校計	1	3	
大学、専門学校等				
1	前橋国際大学	7	8	講話、車いす体験、高齢者疑似体験、対談、知的障害者について、発達障害について（出前講座）、ブラインドウォーク
2	群馬大学	1	1	講話
3	明和短大	1	1	講話、車いす体験
4	群馬プライダルビジネス専門学校	1	6	講話、車いす体験、高齢者疑似体験
	大学、専門学校計	10	16	

(イ) 福祉教育機材貸出状況

	車イス	アイマスク	高齢者疑似装具	白杖
件数	5	68	31	0

(ウ) 地区社協と協働した福祉教育事業の推進

地区の人の参加を得ながら、福祉体験、世代間交流を目的とした福祉体験子どもスクールを開催した。

日程	地区名	会場	参加人数	内容
12月3日	宮城地区	宮城中学校	中学生73人	世代間交流（昔遊び他）

エ 生活支援団体助成事業

前橋市ボランティア団体連絡協議会との連携により、加盟団体への情報提供、活動支援、各種協働事業を行った。活動初動助成のため、赤い羽根共同募金を原資として、NPO法人1団体へ50,000円を交付した。

オ 介護予防活動ポイント制度事業

市からの委託を受けて介護予防活動ポイント制度のうち、施設活動希望者の登録説明・研修会を実施し、研修修了者の登録を行うとともに、活動に関する相談に応じた。

・登録研修会 開催回数14回 参加者数100人 登録者数9人

カ 福祉関係団体の事務支援

- (ア) 前橋市民生委員児童委員連絡協議会
- (イ) 前橋市地区社会福祉協議会
- (ロ) 前橋市ボランティア団体連絡協議会
- (エ) 前橋保護区保護司会
- (オ) 前橋地区更生保護女性会
- (カ) 遺族の会前橋市連合支部
- (キ) 群馬県共同募金会前橋市支会

(3) 見守り・支え合い事業の推進

地域住民、専門職、市社協の連携を深め、自治会を単位とする見守り活動や住民参加型在宅福祉サービス等の生活支援の支え合い活動を推進できる仕組みづくりに努めた。

① 各地区（自治会を含む）を単位として行う事業への支援

ア 要援護者見守り支援モデル事業

要援護者に対して日常からの見守りや声掛け等の安否確認を目的とした仕組みづくりを行う自治会に対して、活動の助成を行った。

助成金は8自治会に対して、赤い羽根共同募金を財源として合計238,492円を交付した。平成27年度末で、累計17自治会に助成した。

イ 買い物支援助成モデル事業

「近くに買い物する店がない」「ひとりでは買った荷物を運べない」等の買い物弱者への支援に取り組んだ。

(ア) 住民同士の支え合いによる買い物弱者支援に対する活動に対する助成金を、地域歳末たすけあい募金を原資として、活動団体1カ所に100,000円を交付した。

(イ) 買い物支援について協議している地域の会議に参加し、地域と共に課題解決に向けた取り組みを行った。

② 市全体を単位として行う事業の実施

ア 住民参加型在宅福祉サービス（有償による会員同士の助け合い活動）

「前橋ふれあいクラブ」「子育て支援サークルしゃぼんだま」「生活支援サークルともだち」の活動促進、組織化支援、他団体との連携強化を図った。

(ア) 活動状況

	前橋ふれあいクラブ（本所）	子育て支援サークル「しゃぼんだま」（大胡支所）	生活支援サークル「ともだち」（大胡支所）
活動件数（件）	335	25（一時預り） 20（サロン）	133
活動時間（延べ時間）	717	149.5（一時預り） 40（サロン）	250.5

(イ) 会員の状況

	前橋ふれあいク ラブ（本所）	子育て支援サークル 「しゃぼんだま」 （大胡支所）	生活支援サークル 「ともだち」 （大胡支所）
活動会員(人)	70	9	18
活動会員 (団体)	9	0	0
利用会員(人)	209	85	39
両方会員(人)	0	0	0
賛助会員(人)	0	0	0

イ 安心カード設置事業

加齢や疾病、障がいなどの理由により日常生活に不安を感じている世帯、その他希望する世帯に対し「安心カード」を自治会、民生委員、行政機関窓口の協力を得て配布をした。さらに統一して冷蔵庫への設置を促すことにより、いざという時の生命の安全確保につなげ、生活の安心感を高めようとする取り組みを行った。関係機関主催のイベントに参加し周知を行った。

また、事業の更なる啓発のため、啓発用ポスターを作成し、各関係機関に配布し、啓発活動に協力いただいた。

群馬中央病院のミニ健康教室で、毎月2回安心カードの周知を行った。
(平成27年11月から計10回実施)

- ・平成22年度事業開始
- ・安心カード配布数累計 33,096枚

(要支援者に対しては、専用ケース付きで配布)

ウ 高齢者電話訪問・相談センター事業

市からの委託を受け、相談員として女性ボランティア9名を委嘱し、ひとり暮らし高齢者に対して電話訪問を行い、安否確認や悩みごと、不安の解消に努めるとともに、高齢者に関する困りごと相談や福祉の問い合わせ等に応じた。

(電話訪問運営状況) (開所日数239日) (人)

登録者数	66 (男12・女54)
訪問延人数	3,269
1日平均訪問数	13

(相談電話運営状況) (開所日数239日) (件)

受付件数	56	
主な 相 談	生活・家庭・住居	32
	健康・医療・介護	15
	デイサービス等施設	1
	法律・年金・税金	5
	緊急事態	0

内 容	福祉機器・福祉産業	0
	その他	8

※相談事項欄は、相談1件で、複数の相談内容を含む

エ 高齢者自立支援配食サービス事業

市からの委託を受け、生活の基本である食事の確保のため、調理が十分にできない高齢者に対し配食サービスを実施した。

地域のボランティアがバランスのとれた食事を、定期的に訪問して配食することにより、高齢者の健康維持・疾病予防、配食時における安否確認及び健康状態の異常等の早期発見並びに孤独感の解消を図った。

(地区別状況)

地区名	町数	ボランティア 人数(人)	登録者 数(人)	実利用者 人数(人)	配 食 数		
					昼食	夕食	計
東	1	47	6	5	612	0	612
上川淵	1	11	6	6	0	1,302	1,302
芳賀	4	97	7	6	0	930	930
敷島	1	34	1	0	7	0	7
永明	2	70	10	7	553	0	553
合計	9	259	30	24	1,172	2,232	3,404

(運営状況)

稼働調理施設	2カ所 (株)シー・アンド・エス、斉藤クリエート食品(株)
拠点(お弁当一時 預り所)	6カ所 (個人商店、地区公民館等)

オ 生活困窮者食料等配付事業

生活困窮者自立支援事業で支援プランに同意した者や、生活福祉資金・生活一時資金貸付事業で申請が受理された者で、食料等配付支援が必要な者または世帯、その他、支援が必要な者または世帯に対し、緊急的に食料等を配付し、生活支援を行った。平成27年度は、61件に対し配付を行った。

③ 災害等への準備

ア 災害支援準備事業

(ア) 栃木県・茨城県台風18号大雨被害に伴う職員派遣

- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議からの要請に基づく派遣
9月18日～23日 鹿沼市災害ボランティアセンターへ1人派遣
- ・関東ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時相互支援に関する協定に基づく職員派遣
9月21日～23日 小山市災害ボランティアセンターへ1人派遣
9月21日～25日 常総市災害ボランティアセンターへ1人派遣
- ・県内ボランティアバスへの職員派遣
9月20日 群馬県社協ボランティアバスへ1人派遣

10月15日 群馬県社協ボランティアバスへ1人派遣

10月10日 伊勢崎市社協ボランティアバスへ1人派遣

・前橋市社会福祉協議会による職員派遣

9月18日～23日 鹿沼市災害ボランティアセンターへ1人派遣

(イ) 栃木県・茨城県台風18号大雨被害に伴うボランティアバスの運行

10月3日(土) 鹿沼市災害ボランティアセンター 35人参加

10月24日(土) 常総市災害ボランティアセンター 36人参加

イ 協働型研修の実施

2月25日に、特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局李仁鉄氏を講師として、所属長及び新規採用職員等を対象に研修を行った。災害時における社協への影響を学び、平時から社協が出来ることは何かを、グループワーク形式にて検討した。

ウ 災害ボランティア活動の推進

(ア) 前橋市総合防災訓練への参加

前橋市総合防災訓練に前橋市ボランティア団体連絡協議会、学生ボランティアと共に参加し、災害ボランティアセンター設置運営訓練の展示を行った。

・期 日 平成27年11月29日(日)

・場 所 市立前橋高校・鎌倉中学校

(イ) 群馬県総合防災訓練への参加

・期 日 平成27年9月5日(土)

・場 所 利南運動広場

(ウ) その他災害ボランティアに関する研修・講座等への職員派遣

No.	団体名	実施日	内容
1	災害ボランティア活動支援プロジェクト	4月4日～5日	「災害時におけるITを活用した支援に関する会議」講師として
2	駒形町自主防災会	9月6日	「車椅子の取り扱いと乗降要領について」
3	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員会	11月22日	「全国ボランティアフェスティバルふくしま」講師として
4	前橋市ボランティア団体連絡協議会	12月12日	「全国ボランティアフェスティバルふくしま参加報告会」講師として
5	群馬県社会福祉協議会	12月14日	「台風18号による大雨被害に伴う支援活動報告会」講師として
6	片品村社協上州雪かき道場	2月3日	小型除雪機コース 2名参加
7	上毛新聞社・時事通信社	2月6日	「防災・地震フォーラムin前橋～東日本大震災から間もなく5年、地震への備えを考える～」講師として

④ 善意銀行・共同募金運動

ア 善意銀行の運営

市民からの善意による金品の預託を受けて、社会福祉に役立つよう取り次い

だ。また、市民の善意を募金していただくために、あたたかいこころ募金箱を設置し、市民啓発と資金造成に努めた。本年度中に回収した募金額は、21,967円（累計3,408,856円）で、善意銀行に預託した。

(預託金)

(単位：円)

	指定寄付金	その他 (一般・あたたかいこころ・災害・雑収入・サービス区分間繰入金※)	合計
27年度預託金件数(件)	2	40	42
〃 金額 A	16,459	2,786,065	2,802,524
前年度繰越額 B	4,925,122	20,491,269	25,416,391
預託金合計金額 A+B= C	4,941,581	23,277,334	28,218,915
支出金額 D	116,683	163,954	280,637
次年度繰越額 C-D	4,824,898	23,113,380	27,938,278

※在宅心身障がい児者海浜生活訓練事業に繰り出した。

(預託物品)

介護用品、食品、家庭用品等128件の預託があり、市内社会福祉施設や要援護者家庭へ配布した。

イ 不要入れ歯回収ボックスの設置

入れ歯に使用されている貴金属で益金を得るため、社協が管理運営する3カ所の老人福祉センターに入れ歯回収ボックスを設置し、不要となった入れ歯の回収を行った。益金は、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会を通じてユニセフ等に寄付され、世界の子どもたちへの支援に活用される。

ウ 共同募金運動

赤い羽根共同募金運動、地域歳末たすけあい運動に協力し、市民の善意を地域福祉事業に活用した。

⑤ その他の事業

ア 戦没者追悼式の実施及び援助

戦後70周年を機に、前橋市全体で戦没者追悼式を行ったため、本庁管内地区戦没者追悼式は実施しなかった。

地区戦没者追悼式を開催した粕川地区社協に対し、戦没者及び空爆犠牲者慰謝激励費を交付した。

イ 地区社協助成金の交付

地区社協の活動を実施・促進するための事業費として、各地区社協へ総額4,379,270円を交付し、地域福祉の促進に努めた。

ウ 福祉機器・福祉車両貸出事業

(ア)福祉機器貸出事業

	平成27年度 新規貸出数(件)	平成28年3月31日現在 貸出数(件)

ギャジベッド		1	39
エアーマット		0	1
車いす	長貸出	2	29
	短貸出	324	

※車いす短貸出は貸出期間が短いため、当該年度の貸出件数のみを把握している。

エアーマットは、平成21年3月31日をもって新規の貸出を終了した。

(イ) 福祉車両の貸出

	利用者数(人)	延利用件数(件)
本 所	67	451
大胡支所	13	37
宮城支所	9	67
富士見支所	19	70
合計	108	625

エ 通所型介護予防事業（からだと脳の若返り講座～新ビッジャン！元気塾～）

市からの委託を受け、前橋市東部圏域にある前橋市みやぎふれあいの郷（宮城支所担当）、前橋市かすかわ老人福祉センター（粕川支所担当）を会場に、年間4コース（1コース3カ月毎）週1回、要介護状態になるおそれがあると認められる65歳以上の高齢者（二次予防対象者）に対し、看護師、歯科衛生士、管理栄養士等による「運動器の機能向上」「口腔機能の向上」「栄養改善」に重点を置いた介護予防プログラムを実施した。

(実 施 状 況)

延利用者数(人)	605
----------	-----

オ 朗読テープの配布

朗読サークル「ひなぎく会」と協働し、社協大胡支所だよりや月刊雑誌「文藝春秋」をテープに録音し、盲老人ホーム「明光園」や大胡地区内の視覚障がい者等9人に配布した。

3 相談支援事業部門 「住民の不安を確実に受けとめる」

住み慣れた地域で暮らし続けられるように、住民の様々な相談を受け止め、適切な機関や社協内の部署と連携し、継続的に支援を行った。

また、地区担当制を強化するために新たにコミュニティソーシャルワーカーを設置し、地区担当者との協働のもと、地域支援と個別支援を一体的に進めた。

(1) 身近な相談窓口の充実

住民の多岐にわたる相談を受け止め、課題や要因を整理して、課題解決に適切な機関や制度、サービスにつなぐ。

① 心配ごと相談所事業の推進

前橋市総合福祉会館の相談室において、学識経験者等16人を相談員として毎週月曜日から金曜日に開設した。（午後1時～4時）

出張相談を、社協大胡支所にて第2水曜日、おおとも老人福祉センターにて

奇数月末に行った。

(内容別相談件数) 相談取扱件数 402件 開所日数 237日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者福祉	母子・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
件数	15	5	9	14	83	2	35	5	16	24	96	4	1	1	2	0	8	37	80	437

※相談事項欄は、相談1件で、複数の相談内容を含む。

ア 相談員に対する研修の充実

「相続税法の改正について・事例をもとにした相談技術の検討について」「ボランティア活動に役立つ傾聴の技法について」をテーマに、研修会を年2回行った。

イ 専門機関との連携強化

相談内容に応じて相談者を他機関に紹介するため、また、相談機能の充実のため、専門機関との連携を図った。

② 在宅生活支援サービス利用支援事業の受託

ア 市の在宅支援サービスの利用を希望する高齢者等の相談、調査及び利用推進
市からの委託を受け、主に大胡地区の高齢者等が前橋市在宅支援サービスの利用を希望したときに、必要な調査、書類の作成及び申請手続きの代行を行った。7件の代行申請手続きを行った。

③ 地区担当チーム制との連携強化

ア 地区担当チーム制及びコミュニティソーシャルワーカーと協働した個別支援と地域支援の実施

市内を5ブロック圏域（中央、南、北、西、東）に分け、各圏域に2名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、月1回地区担当者とのブロック会議を開催し、個別支援と地域支援の強化に努めた。

④ 各支所における相談支援の充実

ア 地域性を生かした相談窓口の充実（各支所事業）

地域の身近な相談窓口として相談の現状把握し、地域性も考慮して対応策を検討した。また、地域団体との交流を通して連携し敏速、包括的な支援を行った。

(2) 自立生活の相談支援と権利擁護

判断能力が不十分な方、生活に困窮している方、聴覚障がいのある方等の権利を擁護し、自立した生活や社会参加ができるよう、関係機関や地域住民と連携し、福祉の向上を図った。

① 日常生活自立支援事業の推進

群馬県社会福祉協議会からの委託を受け、認知症高齢者等に対して、福祉サ

ービスの利用援助や日常的金銭管理、書類などの預かりサービスの支援を行うとともに、成年後見制度への相談助言を行った。

また、成年後見制度の利用に係る連絡調整及び成年後見申立て手続き等の支援を行った。

ア 事業の運営状況

(ア) 事業対象地域 前橋市

(イ) 相談件数 7, 196件

相談形態別		相談分野別		相談内容別	
訪問相談	1, 671	認知症高齢者	3, 048	問い合わせ	168
電話相談	4, 851	知的障がい者	1, 538	新規相談	245
来所相談	674	精神障がい者	2, 608	継続相談	6, 783
その他	0	身体障がい者他	2	その他	0
合計	7, 196	合計	7, 196	合計	7, 196

(ウ) 契約締結審査会への審査依頼件数 0件

(エ) 契約件数 51件

内 訳	認知症高齢者	36
	知的障がい者	7
	精神障がい者	8
	寝たきりの高齢者	0
	合計	51

(オ) 稼働件数 217件

内 訳	認知症高齢者	122
	知的障がい者	40
	精神障がい者	55
	寝たきりの高齢者	0
	合計	217

(カ) 終了件数 37件

理 由	死亡	23
	成年後見への移行	1
	施設入所	5
	本人の申し出	2
	親族管理	4
	再契約等その他	2
	合計	37

(キ) 広報啓発活動の実施状況

- ・権利擁護・成年後見相談所の実施について社協広報紙に案内を掲載
- ・本会ホームページに事業を紹介、成年後見制度パンフレットの配布
- ・居宅介護支援事業者及び地域包括支援センター等との情報交換

- ・ 県内及び他県基幹社協への情報提供
- (ク) その他の事業の実施状況
 - ・ 「まえばし権利擁護・成年後見相談所」の運営
 - 毎月第2・第4土曜日、午後2時から4時まで実施
 - 8回開催、相談案件11件
 - ・ 契約者が利用する福祉施設の視察

イ 支援員等担い手の養成

生活支援員登録者数 100人
 生活支援員雇用者数 79人
 生活支援員研修会実施（12月7日開催、参加人数60名）

ウ 事務の効率化とシステム化

契約者への支援に専念できる体制を強化するため、事務の効率化とシステム化を図った。

エ 権利擁護支援の体制づくり（県社協から「成年後見制度推進事業」の指定）

群馬県社会福祉協議会から平成27年度から2年間「成年後見制度推進事業」の指定を受け、成年後見制度に関する調査・研究や法人後見の受任に向けての体制づくりの準備を進めた。

- (ア) 行政・社協との成年後見会議の開催
- (イ) 成年後見制度勉強会開催
- (ウ) 全国権利擁護支援フォーラム、権利擁護・虐待防止セミナー参加
- (エ) 長野市社会福祉協議会「長野市成年後見支援センター」視察

② 生活福祉資金貸付事業の運営

群馬県社会福祉協議会からの委託を受け、民生委員の協力体制のもとに、低所得世帯及び高齢者又は障がい児者等のいる世帯に対し資金の貸付事業を行い、在宅福祉の積極的な推進と家庭生活の安定向上に寄与した。

（平成27年度 貸付状況）

資金種別		件数	貸付金額(円)
総合支援資金	生活支援費	3	1,044,000
	住居入居費	0	0
	一時生活再建費	2	826,000
福祉資金	福祉費	41	5,344,000
	緊急小口(含、生保つなぎ貸付)	205	8,538,000
	生活復興支援資金	0	0
教育支援資金	就学支度費・教育支援費	61	39,972,000
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	9,023,000
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0
合 計		313	64,747,000

③ 生活一時資金貸付事業の運営

低所得者世帯に対し、一時的に必要な生活資金の貸付を行い生活の安定を図った。

(資金額) 平成27年度末、原資現在額 8,707,257円

区分	預貯金(円)	未償還金(円)	計(円)
前年度末現在高	8,101,257	656,000	8,757,257
原資増減	0	△50,000	△50,000
※本年度収支差額	69,000	△69,000	0
本年度末現在高	8,170,257	537,000	8,707,257

(本年度貸付・償還状況)

区分	件数(件)	金額(円)
貸付状況	0	0 ①
償還状況	24	69,000 ②
※本年度収支差額		69,000

※本年度収支差額＝②償還金額－①貸付金額

④ 意思疎通支援事業の運営

ア 手話通訳設置事業

市からの委託を受けて、聴覚障がい者の社会生活全般のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者2人を設置し、事業推進に努めた。

(活動状況) (件)

通訳	電話通訳	相談	連絡打合せ	その他	合計
156	84	118	1,810	154	2,322

(活動状況の内容別件数) (件)

公的機関	医療機関	教育保育	職業資格	大会会議等	団体活動	生活その他	コーディネート	合計
202	105	19	7	0	65	136	1,788	2,322

イ 手話通訳者派遣事業

市からの委託を受けて、聴覚障がい者の社会生活上の意思疎通を円滑にするため、手話通訳者(登録41人)を派遣した。

(派遣状況) (件)

公的機関	医療機関	教育保育	職業資格	大会会議等	団体活動	その他	合計
30	283	51	33	58	10	34	499

ウ 要約筆記者派遣事業

市からの委託を受けて、聴覚障がい者の社会生活上の意思疎通を円滑にするため、要約筆記者(登録23人)を派遣した。

(派遣状況)

(件)

公的 機関	医療 機関	教育 保育	職業 資格	大会 会議等	団体 活動	その他	合計
0	1	2	2	31	0	0	36

エ 関係機関との連携

行政や他機関と連絡を常に取りあい、聴覚障がい者の支援につながるよう情報を共有した。

オ 登録者の資質向上

研修会を開催し、登録者の資質向上に努めた。

カ 事業の周知と理解

当事者団体や関係団体へ出向き、事業の理解や情報の周知を図った。

(3) さまざまな連携の強化

複合的な相談を受け止め、課題の解決や支援を行うために必要な職員のスキルアップを目的に、研修会や情報交換会を開催した。また、市社協内部、関係専門機関及び地域との連携に努めた。

① 相談事業間の連携

ア 共通研修の実施

職員の相談支援のスキルアップを図るため、正規職員他相談に従事する嘱託職員を対象として、相談時の基本事項の確認と相談支援を通じた地域住民との連携の方法をテーマに、コミュニティワーク研修と同時開催した。

期 日：12月7日(月)、12月16日(水)、1月22日(金)

同内容で、3日間開催

場 所：前橋市総合福祉会館

講 師：駒澤大学教授 新井浩道氏

テーマ：「相談援助の実践と展開」

イ 情報交換会の実施

地区担当ブロック会議、チーム会議の場で、個別事例の共有や対応の検討を行い、相談に関するスキルアップを図った。

② 関係機関との連携

ア 関係機関一覧の更新、共有

相談支援に必要な関係機関の情報を収集し、協働・共有を図ることを目的に関係機関一覧を作成した。また一覧の作成を通じ、職員の相談技術の向上と地域支援力の向上を図った。

③ 地域住民との連携

ア 地区担当ブロック会議、地域における研修等事業を通じた連携

地区担当ブロック会議にて各所属の支援事例を共有し、地域との相談に関する情報や手法の共有を図りながら、地域の福祉力を高めるよう取り組んだ。

4 在宅福祉サービス部門

「地域に根ざした利用者本位の在宅福祉サービスの実現」

高齢者や障害者など支援を要する人が、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、職員の資質の向上を図り、質の高い介護サービスの提供に努めた。

(1) 本会の介護サービス事業

① 介護保険サービス

ア 居宅介護支援事業

月別利用者数 (人)

月	本 所	東 部
4	245	197
5	247	197
6	249	199
7	253	205
8	240	203
9	235	199
10	237	195
11	245	182
12	243	185
1	241	183
2	242	181
3	241	180
合計	2,918	2,306

イ 訪問介護、介護予防訪問介護事業

月別利用者数 (人)

月	本 所		東 部	
	介護	予防	介護	予防
4	147	158	89	46
5	151	155	87	49
6	152	160	89	49
7	152	165	89	52
8	145	167	86	48
9	139	171	85	51
10	144	167	91	51
11	143	165	87	54
12	136	171	85	52
1	137	168	82	50
2	129	166	79	48
3	122	172	75	46
合計	1,697	1,985	1,024	596

ウ 通所介護、介護予防通所介護事業

月別利用者数

(人)

月	おおとも		大胡いこいの家		樋越いこいの家		小屋原町ももちゃん家	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防
4	37	20	41	18	23	3	19	7
5	40	20	39	16	22	3	20	6
6	42	21	38	16	22	3	20	4
7	47	19	35	17	23	2	17	4
8	44	21	36	17	23	2	19	4
9	44	19	36	17	23	2	18	4
10	43	19	33	18	22	2	19	4
11	41	18	29	19	22	2	18	4
12	44	17	29	19	22	1	18	4
1	39	17	32	17	22	2	18	4
2	37	15	36	15	22	2	21	3
3	36	16	35	15	21	2	19	2
合計	494	222	419	204	267	26	226	50

エ 訪問入浴、介護予防訪問入浴介護事業 (東部介護センター)

月別利用者数

(人)

月	介護	予防
4	30	0
5	28	0
6	28	0
7	32	0
8	30	0
9	31	0
10	32	0
11	30	0
12	26	1
1	21	1
2	23	1
3	29	0
合計	340	3

② 障害福祉サービス

月別利用者数

(人)

月	居宅介護事業		同行援護事業	
	本所	東部	本所	東部
4	74	11	10	1

月	居宅介護事業		同行援護事業	
	本所	東部	本所	東部
5	74	11	11	1
6	77	11	8	2
7	79	11	8	1
8	81	12	11	1
9	81	12	9	1
10	79	13	9	1
11	76	14	8	2
12	76	14	9	1
1	77	15	9	1
2	78	14	11	1
3	80	14	8	1
合計	932	152	111	14

③ 受託事業

ア 要介護認定等調査

保険者	事業所	調査件数(人)
前橋市	東部	18
その他	本所	27
	東部	8
計		53

イ 介護予防サービス計画作成

月別利用者数 (人)

月	本所	東部
4	56	18
5	55	22
6	56	21
7	57	22
8	60	22
9	61	24
10	62	26
11	64	27
12	65	26
1	66	26
2	67	27
3	70	28
合計	739	289

ウ 生活支援型家事援助事業

	実利用者数(人)	年間延訪問回数(回)
本所	18	675
東部	6	100

エ 移動支援事業

	実利用者数(人)	年間延訪問回数(回)
本所	11	222
東部	2	181

オ 自立支援型デイサービス事業

	実利用者数(人)	年間延訪問回数(回)
大胡いこいの家	2	81

カ 重度身体障害者等入浴サービス事業

	実利用者数(人)	年間延訪問回数(回)
東部	2	81

④ 自主事業

ア 自費訪問介護サービス事業

	実利用者数(人)	年間延訪問回数(回)
本所	8	1,136
東部	1	8

イ 緊急時宿泊サービス事業 (樋越いこいの家デイサービスセンター)

	実利用者数(人)	年間延利用可数(回)
樋越いこいの家	11	179

⑤ 低所得者対策の実施

社会福祉法人等による利用者負担軽減措置の適用を行った。

	訪問介護		通所介護			
	本所	東部	おおとも	大胡	樋越	小屋原
利用人員	1人	0人	0人	0人	0人	1人
減免率	25%	25%	25%	25%	25%	25%

⑥ 福祉に携わる人材養成のための訪問介護実習の受け入れ

同行訪問実習 本所 延べ15人 東部 延べ 6人

(2) 在宅生活を継続するための支援

介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、社協の他部署や各関係機関と連携を図り、社協としての特徴を活かした支援をした。

① 既存サービスの充実と連携

ア 各事業連絡調整会議の実施

毎月、在宅福祉サービス部門会議を開催し、各事業所の情報の共有を図り、在宅福祉サービスの運営について検討を行った。

イ 社協他部署の職員との連携

制度だけでは解決できないケースに対し、コミュニティソーシャルワーカーや地区担当と連携を図り、社協の総合力による支援を図った。

ウ 地域ケア会議への参加

制度だけでは解決できないケースに対し、地域包括支援センターとの連携により地域ケア会議を活用し、他職種の連携による支援を図った。

② 個々の支援のための事業連携・開発

ア 住民参加型在宅福祉サービス事業との連携

制度で支援できない生活課題に対応するため、住民参加型在宅福祉サービス事業との連携を図った。

(3) 安定した事業運営

安定した事業運営を実現するため、地域への職員派遣、パンフレットの配布等でPRを図るとともに、満足度アンケートを実施し信頼される事業運営を目指した。

① 地域に根ざした事業運営

ア 地域への貢献活動

介護保険制度の説明、介護技術の講習など、介護の専門知識を活かして、講師として地域のサロンや老人福祉センターへ職員を派遣した。

② 安定した利用者の確保

ア 広報活動の充実、強化

介護保険制度のパンフレットを名入れて作成し、民生児童委員協議会などで配布しPRを図った。

イ 満足度アンケートの実施

サービス向上のための取り組みの一環として、満足度アンケートを実施した。

③ 適切な事業運営

ア 介護サービスの経営実態及び課題把握、改善

在宅福祉サービス部門会議において、毎月の利用者数状況及び収支状況を確認し、改善策を検討した。

イ 計画的な資産管理

計画的な修繕費用の確保、固定資産取得の確保について検討を行った。

(4) 職員の人材確保並びに資質の向上

魅力ある職場環境を整えるとともに、研修計画を作成し、職員の資質の向上を図った。

① 研修の充実

ア 研修体系と研修計画の作成

職員の資質の向上を目的に、「介護事故0を目指す」を年間目標として研修計画を作成し、計画に基づき研修を実施した。

内容	開催日	対象者	参加者数
職業倫理（リーダー編）	5月20日	正規職員	29人
職業倫理（中堅職員編）	6月16日	嘱託、臨時職員 （勤続年数5年 以上）	49人
	6月17日		50人
リスクマネジメント	7月15日	正規職員	32人

前橋市社協のサービス・前橋市の高齢者福祉サービス	7月22日	全職員	77人
	7月23日		72人
腰痛予防	8月17日	全職員	66人
	8月24日		84人
安全運転	9月16日	デイ、訪問入浴職員他	43人
食事介助	10月16日	全職員	59人
	10月19日		94人
苦情処理	11月19日	正規職員	32人
職業倫理	12月10日	嘱託、臨時職員 (勤続年数5年未満)	48人
救命講習会	11月17日	全職員	14人
	11月27日		28人
	12月11日		17人
	2月17日		39人
	2月19日		34人
	2月23日		26人

※開催日が複数回ある研修は、対象者が多いため、同じ内容で開催日を分けて実施した。

② 介護従事者の確保

ア 職場環境の整備

各介護事業所の職員不足を補うため、事業所間で職員が協力できる体制をとった。

イ 求人方法の検討、実施

求人用のポスターを掲示し、職員募集のPRを図った。

5 障害事業所運営部門 「地域で暮らせる自立支援」

指定管理制度に基づく市との協定により7カ所の地域活動支援センター（福祉作業所）、及び前橋市中心身障害者デイサービスセンターを管理運営した。

○地域活動支援センター（福祉作業所）

区 分	在籍通所者数(人)	開所日数(日)
第一作業所	14	241
第二作業所	17	241
第三作業所	12	238
大胡作業所	18	241
宮城作業所	9	240
粕川作業所	7	241
富士見作業所	12	243
合 計	89	1,685

○心身障害者デイサービスセンター（生活介護）

在籍通所者数	11人
開所日数	250日

※心身の機能回復、日常生活の自立援助を図るため作業・理学療法士や看護師、歯科衛生士の巡回指導を実施した。

※心身障害者デイサービスセンター利用者に対し、利用者の安全確保及び保護者の送迎負担の軽減を図るため送迎サービスを実施した。

○養護学校等からの就業体験の受け入れ

養護学校等の進路学習の一環である「就業体験」を福祉作業所で49日間、20人の児童・生徒を受け入れ、卒業後の進路を検討する一助とした。

(1) 事業所提供サービスの質と量の向上

利用者個人の支援計画や各事業所の年間計画などに基づき、花見やバーベキュー等の季節行事及び地域の行事への参加、買い物や外食等の生活訓練等を行った。利用者が地域の中で様々な経験をすることで、社会生活の適応能力を少しでも向上させるとともに、各事業所を利用する楽しみにつなげた。また、就労に向けてステップアップを希望する利用者に対して、他法人の施設にて実習を行った。

① 重度化・高齢化への対応

ア 実態把握・対応策の検討と実践

面接やアンケートを実施し、利用者と家族が抱える課題の把握に努めた。利用者本人の高齢化に伴い、高齢者デイサービス等の利用につなげた。また、保護者の高齢化に伴う通所等の課題については、関係機関と連携し対応策を検討した。

② 日中活動・社会体験の支援（地域活動支援センター）

ア 受注作業の情報収集

各センターの受注作業の情報を共有し、共同で受注するシステムを検討した。全センター自主製品の共通ロゴを作成し、活用することで自主製品のブランド化を目指した。

イ 利用者のニーズ把握

面接やアンケートで利用者のニーズを把握した。その結果に基づき、作業活動、外出行事及び余暇活動等の充実を図った。

ウ 地域行事への参加

ふれあいの広場等の地域行事や、自主製品販売会等のイベントに参加し、地域住民との交流やセンターの周知を行った。

③ 将来の生活像を踏まえた支援（心身障害者デイサービスセンター）

ア 将来に向けての情報収集と発信

面接やアンケートで将来への希望を把握した。希望する地域生活ができるよう障害福祉サービスを組み合わせる等、情報の提供を行った。

イ 様々な企画の実施

保護者会にて将来的に必要な福祉サービスの情報提供を行った。また、地域活動支援センターと共催で保護者向け研修会を開催し、利用者と家族の今後の生活について、グループ討議を行った。

(2) 本人・家族自立支援の推進

日中の活動では生活能力の維持・向上のため、利用者一人ひとりの能力に応じて、自分のことが自分でできるように活動内容を工夫しながら支援を行った。また、利用者及

び家族の将来設計に役立てられるよう、保護者向けの研修会(「ライフプランづくりのすすめ」)を行った。

① 個別支援の充実

ア 実態把握・サービス提供

面接やアンケートにて利用者や家族のニーズを把握し、支援計画書を作成した。
日中活動支援の中で個別モニタリングを実施した。

行動障がいを伴う利用者への個室対応、公共交通機関利用者の見送り等、事業所内外における安全な環境を整備した。

② 通所困難者への対応(地域活動支援センター)

ア 調査検討

送迎サービス実施について、係る経費等の調査を実施した。

イ 関係機関との協議

支障害福祉課へ送迎サービスについての調査結果を通知し、検討協議の依頼を行った。

③ 家族支援の充実

ア 実態把握

保護者向け研修会等にて、利用者や家族の高齢化の実態把握に努めた。

イ 関係機関との連携

福祉サービス事業所等との連携を図り、利用者へのサービス提供につなげるとともに、家族の負担軽減を図った。

(3) 関係機関との連携

相談支援事業所と、各事業所の現状や自立支援法によるサービス利用状況等の現状などについての情報交換会を実施し、その後も利用者個人の生活状況や相談に応じて、相談支援事業所や行政担当者等と課題解決にむけて連携を図った。

① 社協内の連携

あんしん課職員との意見交換会を行い、利用者の日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用について検討を行った。社協内での情報交換を行うことで、相互の事業内容の把握や連携強化につなげた。

② 行政・各種団体・他法人との連携

相談支援事業所との情報交換会を開催し、サービスの利用方法や課題について協議し、利用者や家族へ提供する情報を収集した。

6 老人福祉センター運営部門「高齢者の若返りの場づくり」

指定管理者制度に基づく市との協定により、5カ所の老人福祉センターを管理運営し、生涯学習や交流事業の充実と健康の維持増進に努め、高齢者が健康的で明るい生活を送ることができるよう努めた。

(しきしま老人福祉センター利用状況)(開所日数298日) (人)

区分	年間利用者	月平均	1日平均	割合(%)
市内個人	97,491	8,124	327.2	93.2
市内団体	4,126	344	13.8	3.9
市民以外	2,895	241	9.7	2.9

合 計	104,512	8,709	350.7	100.0
-----	---------	-------	-------	-------

※うち、日曜開館を10日実施し、1日平均利用者数は203人。

(ひろせ老人福祉センター利用状況) (開所日数301日) (人)

区 分	年間利用者数	月 平 均	1日平均	割 合(%)
市内個人	81,533	6,794	270.9	98.7
市内団体	93	8	0.3	0.1
市民以外	989	82	3.3	1.2
合 計	82,615	6,884	274.5	100.0

※うち、日曜開館を12日実施し、1日平均利用者数は239人。

(おおとも老人福祉センター利用状況) (開所日数299日) (人)

区 分	年間利用者数	月 平 均	1日平均	割 合(%)
市内個人	65,637	5,540	223.0	98.7
市内団体	74	6	0.2	0.1
市民以外	773	64	2.6	1.2
合 計	66,484	5,610	225.8	100.0

※うち、日曜開館を11日実施し、1日平均利用者数は143人。

(かすかわ老人福祉センター利用状況) (開所日数241日) (人)

区 分	年間利用者数	月 平 均	1日平均	割 合(%)
市内個人	28,239	2,353	117.2	91.2
市内団体	2,641	220	11.0	8.5
市民以外	104	9	0.4	0.3
合 計	30,984	2,582	128.6	100.0

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休所

(ふじみ老人福祉センター利用状況) (開所日数199日) (人)

区 分	年間利用者数	月 平 均	1日平均	割 合(%)
市内個人	7,014	585	35.3	78.6
市内団体	1,889	157	9.5	21.2
市民以外	16	1	0.1	0.2
合 計	8,919	743	44.9	100.0

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休所

※施設改修のため平成27年8月17日より休館している。(休館中、巡回バスはしましま老人福祉センターで運行し、一部主催事業は、地区内施設を借りて継続実施した。

(1) 生きがいづくり

高齢者の余暇や趣味としての活動の場である自主クラブの活性化と地域の交流の場づくりに努めた。

① 生涯学習の充実

ア 実施状況の調査、研究

老人福祉センターでは多種多様な自主クラブ活動が行われているが、各老人福祉センターで統一したクラブ活動を実施するため、センターごとに制定していたクラブ設置要綱を見直し、統一した要綱を制定した。

イ プログラムの検討と実施

統一した要綱を基に、クラブ活動の活性化等、生涯学習の充実に努めた。

② 交流活動の推進

ア 実施状況の調査、研究と情報の共有

ふれあい・いきいきサロンや老人クラブ活動等、老人福祉センターを会場として実施されている交流活動を調査し、利用促進への更なる周知を図った。

イ 実施方法の検討と実施

上記調査を基に、老人福祉センター利用促進への更なる周知を図り、地域活動の拠点としての役割を担った。

(2) 生活支援の体制づくり

利用者との日々の関わりをとおして受けた様々な相談を、適切な支援機関へつなぐとともに、災害等に備える体制づくりに努めた。

① 身近な相談窓口

ア 情報収集

老人福祉センターを利用する高齢者の身近な相談窓口として相談に応じた。

身体の不調や介護に関する相談について、看護師が専門的立場から相談に応じ、心配ごとや健康に関する相談については、状況に応じて関係機関への照会や指導を行った。

イ 連携方法の体制づくり

相談申込み受付票を活用し、社協内の各課や関係機関との連携を図ることができるよう検討し、試験的に5件の受付票を作成し活用した。

② 安全安心な地域づくりへの協力

ア 利用者への防災意識の喚起と情報提供

老人福祉センターだよりに災害時の備えを掲載し周知を図るとともに、警察や市等と連携し、高齢者の事故防止や振り込め詐欺防止の注意喚起を行った。

イ 連絡・連携会議の開催

老人福祉センター部門において、市の担当課による福祉避難所についての講習会を開催し、職員の理解を図った。

ウ 福祉避難所マニュアルの作成

市の避難所マニュアルを基本に、福祉避難所としてのマニュアルの作成を検討した。

エ 災害に備えた事業の企画実施

臨時休館日を利用し、職員を対象に防災意識を喚起するための講習会を開催した。また、暴風や降雪等への対応マニュアルを作成し、職員間の意思統一を図った。

③ 移動販売・臨時売店の実施

ア 買い物が困難な利用者への支援

商業施設が近隣になく買い物が困難な利用者に対し、企業と連携し移動販売車による買い物支援に取り組んだ。週2回の運行に延べ1,180名が利用した。

イ 臨時売店によるサービス提供

障がい者福祉施設の自主製品（うどんや野菜等）を販売する臨時売店を開設し、買い物支援に取り組むとともに、障がい者との交流の場づくりに努めた。

④ シルバーハウジング事業の推進

市からの委託を受け、広瀬団地において、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング、SE棟14戸、UB棟15戸、UD棟16戸、UE棟16戸 計61戸）を管理運営し、生活援助員が入居者の安否確認や緊急通報電話の対応を行い、高齢者の安全管理を支援した。年間24回の緊急通報に対応した。

ア 日常生活の支援

日常生活に支障を来た入居者に対し、家庭ゴミの搬出などの生活状況に応じた支援を行った。

イ 緊急通報システムの管理

入居者の安否確認と緊急時の対応に備え、緊急通報システムの定期点検を行った。

ウ 団らん室の有効活用

入居者が加入する地域のサークル活動で、「いきいきサロン」や「元気体操」を行う等、交流の場として団らん室の有効活用に努めた。

(3) 健康づくり

高齢者の健康維持・増進を図るため、健康教室や介護予防体操を行い、介護予防に対する知識の普及と意識の啓発に努めた。また、健康相談を実施し、高齢者の不安とともに考え解消に努めた。

① 健康維持・増進

ア ピンシャン元気体操のさらなる普及

各老人福祉センターにおいて、1日2回介護予防体操「ピンシャン元気体操」を実施し、高齢者の介護予防に努めた。

(実施状況)

区分	しきしま	ひろせ	おおとも	かすかわ	ふじみ
延利用者数(人)	28,398	16,513	11,483	9,058	4,902

イ 健康相談事業

各老人福祉センターにおいて、市内の40歳以上の人及びその家族に対し、看護師等が健康相談業務を行った。

(実施状況)

区分	しきしま	ひろせ	おおとも	かすかわ	ふじみ
延利用者数(人)	25,187	6,700	5,871	9,058	1,267

ウ 機能訓練事業

各老人福祉センターにおいて、市内の40歳以上で、体が不自由あるいは、機能が低下している人に対し、理学療法士、看護師等により機能訓練を行った。

(実施状況)

区分	しきしま	ひろせ	おおとも	かすかわ	ふじみ
延利用者数(人)	32,509	18,513	10,283	9,058	4,902

② 健康教室の開催

ア 健康に関する教室の開催

各老人福祉センターにおいて、認知症や骨粗鬆症、熱中症、インフルエンザ等、身近で関心の高いテーマをわかりやすく説明し、かつ予防につながる情報を提供した。

(実施状況)

区分	しきしま	ひろせ	おおとも	かすかわ	ふじみ
延利用者数(人)	167	1,138	96	77	195

イ 介護予防意識の向上

介護予防に関する一日教室の開催や、定期的に体力測定を行い、前回の記録との比較を行うことで、体力維持向上の意識付けを図った。

7 児童クラブ運営部門「児童の育ちの支援」

市からの委託を受け、おおご児童クラブ、おおごひがし児童クラブ、みやぎ児童クラブ及びかすかわ児童クラブを運営し、放課後留守家庭の児童の健全育成に努めた。

(月別平均利用者数)

(人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
おおご	11	13	10	0	0	0	34
おおごひがし	24	22	10	0	1	0	57
みやぎ	14	13	12	8	5	3	55
かすかわ	17	16	12	11	4	0	60
合計	66	64	44	19	10	3	206

(1) 安全・安心な保育の提供

運営する4つのクラブの特性を活かしながら、統一した保育が行えるよう、部門会議、主任会議を行い、児童と保護者が安心して利用できるよう環境整備に努めた。

① 保育方針の統一

ア 保育方針とマニュアル作成のための調査・研究

他の児童クラブから情報収集を行い、マニュアル作成に取り組んだ。

イ 保護者アンケートの実施

12月にアンケートを実施し、2月に集計結果を保護者へ配布した。いただいた意見を基に改善に取り組んだ。

ウ 各小学校との情報交換会の実施

市主催による「放課後子ども総合プランに係る協議会」に参加し、学校との連携を図った。

② 児童の安全管理の充実

ア 火災・地震等を想定した避難訓練の実施

各児童クラブにて、各種避難訓練を実施した。

イ 学校や関係機関及び保護者との連携強化

小学校と、年度当初その他必要に応じて情報交換・連携を図った。

関係機関と、市主管課主催「放課後子ども総合プランに係る協議会」に出席して連携を図った。

保護者と、必要に応じて連携を図った。

③ 入所しやすい児童クラブ体制づくり

ア 入所判定基準見直しのための調査・研究

前橋市内57カ所の児童クラブの利用料の調査を行った。

入所判定基準の見直しのため、現クラブ利用者の利用状況（週の利用回数・利用時間等）と、保護者が迎えに来る時間帯を調査した。

イ 利用料の見直しの検討

上記調査を踏まえ、利用料見直しの検討を進めた。

(2) 職員の資質向上

全支援員が専門的な知識を取得するため内部研修を行った。また、群馬県認定資格研修に参加し、児童を安全かつ充実した保育内容で受け入れられるよう、自己研鑽と知識や技術の向上に努めた。

① 自主勉強会・研修会への参加強化

ア 支援員研修の実施及び外部研修への参加機会の確保

4児童クラブ支援員合同研修会を、年4回開催した。

各種外部研修に参加した。

イ 放課後児童支援員認定資格取得の促進

群馬県放課後児童支援員認定資格研修を、各クラブより1人受講した。

(3) 豊かで健やかな育ちの支援

地域・関係機関・学校等との更なる連携強化を図り、より充実したサービス提供が行えるよう努めた。

① 関係機関とネットワークの構築

これまで機会が少なかった地域行事への参加等、地域との交流に努めた。

② 子育て相談の充実

保護者からの相談に、適切に応じられるよう努めた。

II 公益事業

1 地域包括支援センター東部の経営（相談支援事業部門）

(1) 主に高齢者に関する総合相談窓口の充実

市からの委託を受け、大胡、宮城、粕川地区を対象とする「前橋市地域包括支援センター東部」を運営した。

① 総合相談支援事業

高齢者に関するさまざまな相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぐ等の支援を行った。

相談形態 (件数)	訪問相談	285	相談内容 (件数)	介護相談	262
	電話相談	901		介護保険サービス	307
	来所相談	231		地域支援事業	0
	その他	36		保健・福祉サービス	32
				ケアマネジメント	91
				権利擁護	443
				その他	318
	合計	1,453		合計	1,453

② 権利擁護業務

高齢者の人権・権利を守ることを目的に、高齢者虐待の早期発見・対応を心がけ、市社協や警察等様々な機関と連携し必要な援助を行った。

1	高齢者虐待への対応	47件
内 訳	身体的虐待	46件
	経済的虐待	1件
	精神的虐待	0件
	介護放棄	0件
2	その他	1件

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員からのケース相談に応じ、また、介護支援専門員を対象とした事業を実施し、介護支援専門員の支援を行った。

- ・相談件数 182件
- ・圏域内事業
事例検討会 1回 情報交換会 1回
- ・市内全域事業
情報交換会 2回 全体研修会 1回

④ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防サービス計画の作成を行うとともに、要介護状態となるおそれの高い高齢者に対し、要介護状態になることを予防するために、訪問や電話により通所型介護予防事業（からだと脳の若返り講座等）の参加を促し、必要な支援を行った。

(2) 地域包括ケアシステムの構築

地域ケア会議を開催するなど地域包括ケアシステムの推進に努めた。

(地域ケア会議開催状況)

会議名	内容	出席者	実施回数
調整会議	地域課題への対応	地域の代表者	3回
実務担当者会議	地域課題の整理、課題対応の検討等	地域の実務担当者	1回

個別ケース会議	個別ケース課題への対応の検討	ケースの関係者	6回
---------	----------------	---------	----

(3) 介護予防支援事業

委託事業所数 39事業所

月別利用者数

(人)

月	包括	委託事業所	合計
4	130	155	285
5	133	157	290
6	134	158	292
7	133	159	292
8	133	156	289
9	140	166	306
10	139	178	317
11	147	171	318
12	148	176	324
1	147	165	312
2	145	164	309
3	141	168	309
合計	1,670	1,973	3,643

2 生活困窮者自立相談支援事業の経営（相談支援事業部門）

雇用の不安定さや病気等様々な理由で経済的に困窮し、生活上の悩みを抱える方々を支援し自立した生活に繋げることを目的に、前橋市からの委託を受け「まえばし生活自立相談センター」を前橋市役所1階社会福祉課内に開所し、自立相談支援を行った。

(1) 職員体制

正規職員2人（所長1人、主任相談支援員1人）

嘱託職員4人（相談支援員3人、就労相談支援員1人）

(2) 新規相談受付件数

		総件数	673
性別	男性		410
	女性		263
年齢	10代～20代		33
	30歳代		83
	40歳代		149
	50歳代		117
	60歳～64歳		63
	65歳以上		228
有（重複相談経路）	本人電話・来所		513
	家族知人電話・来所		110
	自立相談機関・関係者が把握		3

	関係機関からの紹介	78
	その他	19

(3) 生活自立支援プラン同意件数

総件数		73
性別	男性	46
	女性	27
年齢	10代～20代	3
	30歳代	12
	40歳代	33
	50歳代	14
	60歳～64歳	4
	65歳以上	7
有 ス メ ン ト 結 果 (重 複)	新規支援時のアセスメント結果の重複	
	経済的困窮	48
	就職活動・定着困難	26
	病 気	17
	多重・過重債務	11
	家計管理の課題	11
	メンタルヘルスの課題	11

(4) プランに関わる関係機関・関係者（重複有）

ハローワーク	31	医療機関	10
市社協関係課	13	法テラス・消費生活センター	8
市福祉関係課	12	その他	15

(5) 支援により見られた変化（重複有）

就労開始	16	自立意欲の向上・改善	16
家計の改善	12	健康状態の改善	14
就職活動・訓練	9	住まいの確保・安定	12
債務の整理	8	精神の安定	10
生活保護適用	7	生活習慣の改善	5
職場定着	3	孤立の解消	5

(6) 関係機関、地域住民へ継続した事業周知

関係機関34ヶ所と市内22地区民児協に対し、事業周知の説明を行った。
包括支援センター等の関係者会議、研修会にて、事業説明を行った。

(7) 福祉事務所等、関係機関との連携

関係機関と連携しながら支援に努めた。

内訳：生活保護制度へ繋ぐ 124件、生活福祉資金貸付事業 20件、
医療機関10件、その他機関 42カ所

(8) 生活困窮者自立支援制度の他事業との連携

制度内の他事業と連携して相談者の自立支援に努めた。

内訳：住居確保給付金 24件、就労準備支援事業 2件、学習支援事業 4件、

Ⅲ 収益事業

1 自動販売機設置等事業（法人運営部門）

(1) 飲料自動販売機の設置による手数料収入事業

飲料自動販売機を設置し、29台分の手数料総額1,444,233円の収入を得た。

- ・大渡温水プール(1台)
- ・前橋市保健センター(2台)
- ・グリーンドーム前橋(2台)
- ・前橋市総合教育プラザ(5台)
- ・前橋市消防本部(1台)
- ・前橋市消防本部東消防署(2台)
- ・前橋市消防本部北消防署白川分署(1台)
- ・しきしま老人福祉センター(3台)
- ・ひろせ老人福祉センター(4台)
- ・おおとも老人福祉センター(4台)
- ・ふじみ老人福祉センター(1台)
- ・前橋市総合福祉会館(1台)
- ・前橋市保健所(1台)
- ・おおごいこいの家(1台)

(2) 公衆電話の設置による手数料収入事業

公衆電話を設置し、1台分の手数料総額396円（経費除く）の収入を得た。

- ・おおとも老人福祉センター(1台)

2 弁当飲料等取次事業

弁当、菓子及び飲料の注文を取次ぎ、3社からの手数料総額146,241円（経費除く）の収入を得た。

3 広告掲載事業

ホームページのトップページにバナー広告欄を設け、8件の広告料総額255,000円の収入を得た。